

## 1 大型実物資料の概要

### (1)原子力広報塔（町体育館前に設置されていたアーチ型看板）



【被災場所及び所有者】 双葉町

【保管場所】 旧双葉町役場、県立博物館

【大きさ】 長さ約16m×高さ約2m

【重さ】 3~4 t（看板部分）

※解体済み。フレームは旧双葉町役場敷地内、文字パネルについては他の標語の文字と合わせて県立博物館で保管している。

#### 【原子力標語（4種類（2か所×裏表））】

- ・原子力明るい未来のエネルギー（町体育館前、1988年）
- ・原子力正しい理解で豊かなくらし（町体育館前、1988年）
- ・原子力豊かな社会とまちづくり（役場前、1991年）
- ・原子力郷土の発展豊かな未来（役場前、1991年）

### (2)津波被災消防車（軽自動車）



【被災場所及び所有者】 双葉町

【保管場所】 旧双葉町役場

【大きさ】 長さ3.55m×高さ1.75m×幅1.8m

【重さ】 1~1.3 t

## 2 大型実物資料の展示方法・展示イメージ

- 展示を想定する場所は伝承館の北東側テラス（室外）
- 立て看板型のレプリカボードを製作し、実物文字パネルを展示する
- 看板は、可搬型で文字の入替えが可能な仕様とする
- 看板単独ではなく、消防車と組み合わせて展示する
- 展示開始時期は関係機関等との調整後に決定する

#### 【展示イメージ】

